

AIで石礫検出

オリコンサルら
NETIS登録

オリエンタルコンサルタ
ンツが開発したAI石礫
（せきれき）検出システム
「グラツチェ」が、5月24
日に国土交通省関東地方整
備局の新技术情報提供シス
テム（NETIS）に登録
された。ドローンなどで空
撮した溪流の連続写真をク
ラウドにアップロードする
と、AIが自動で石礫を検
出。砂防調査に必要な情報

を取得できる。人力で石礫
を調査する場合と比較して
作業時間を70%削減できる
という。

グラツチェはクラウド型
ドローン測量サービスを手
掛けるスカイマティクス
（東京都中央区、渡邊善太
郎社長）と共同開発した。
高解像度の撮影画像からA
Iが礫径などを自動で判読
する。画像をアップロード
するとオルソ画像、3D点
群データなどを自動生成。
オルソ画像からAIが自動
で石礫を判別し、石の大き

さ、数、位置を自動計測す
る。特定のエリア、上位2
00個の石の抽出など、砂
防調査に必要な情報を簡単
に取得できる。

取得した情報から礫径分
布グラフ、粒径分布グラフ
などを自動生成するため、
砂防調査に役立てられる。
現状、砂防溪流での現地
調査は主に人力で行ってい
る。溪流での調査は調査範
囲が広域にわたり、作業量
が多く調査員の負担が課題
となっている。